

2020年度 環境報告書

Your Partner in Medication

yuyama

株式会社 **湯山製薬所**

<http://www.yuyama.co.jp/>

INDEX

- 目次
- 企業理念
- 会社概要・組織体制
- 環境方針
- 2019年度までの取り組み
- 2020年度 環境目標
- 2020年度 達成状況
- 環境関連法規制について
- 教育・訓練

企業理念

企業理念

私たちは、常に創造力と最先端技術をもって、
医療を通じ 社会に貢献し、
その報酬をもって、当社の限り無き発展と
社員一同の豊かで健康な生活向上を
目指す集団です。



会社概要・環境組織図

大阪本社概要

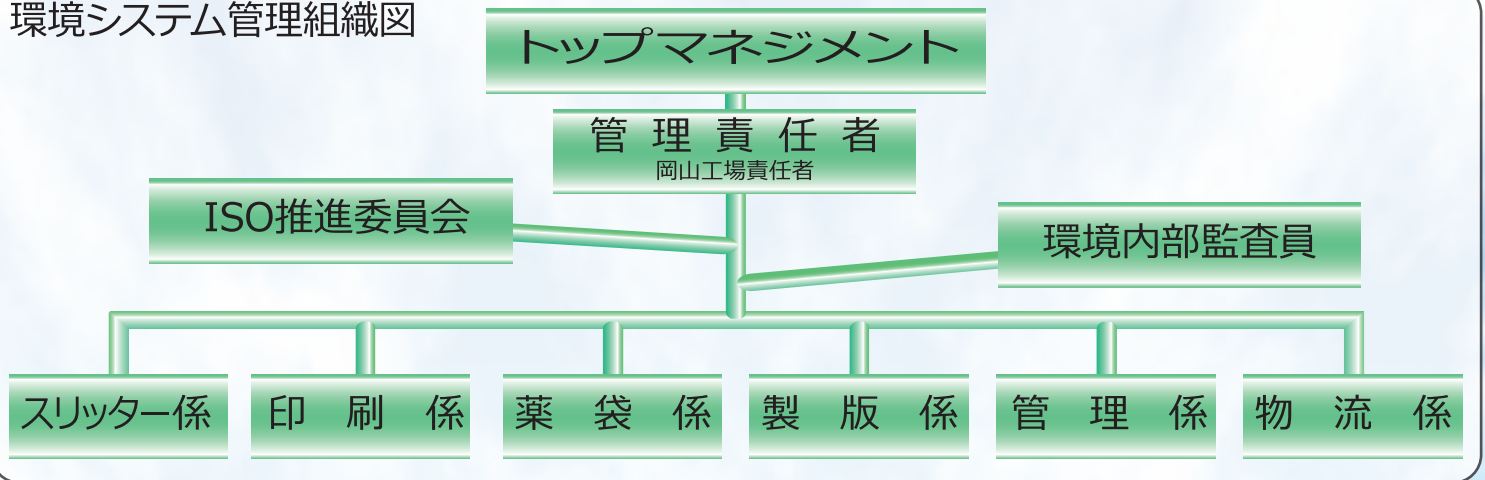
名称：株式会社 ヨヤマ
株式会社 湯山製作所
創業：昭和39年11月
本社：大阪府豊中市名神口1丁目4番30号
代表：代表取締役 湯山 裕之
資本金：9,000万円
事業内容：病院、医院、診療所、調剤薬局の調剤機器
設備及び製剤設備機器、電子カルテシステム
の開発・製造・販売。
従業員数：1400名
事業所：東京本社
営業所：札幌、仙台、名古屋、広島、福岡 他
全国50拠点
工場：本社工場・岡山工場
現地法人：中国（上海）
：アメリカ（イリノイ、フロリダ、カルフォルニア
テキサス、コネチカット）



岡山工場概要

名称：株式会社 湯山製作所 岡山工場
創業：平成10年3月
所在地：岡山県勝田郡奈義町柿502-19
事業内容：分包紙、薬袋紙、の製造
従業員数：69名

環境システム管理組織図



岡山工場 外観

環境方針・認証・認定

環境方針

湯山製作所の全社員は、「医療を通じ社会に貢献し、共存共栄をはかる」という理念に基づき、その全事業活動の継続的改善に努め、環境保全のために限りある資源を大切にまいります。

1. 社員一人一人が地球環境問題の重要性を自覚して、その保全に努めます。
2. 環境に関する法規制及びその他の要求事項を遵守すると共に、自主管理基準を定め、環境汚染の防止に努めます。
3. 生産活動において、省エネルギー・省資源・リサイクル活動の推進を図り、地球環境の保全に努めます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、地域の環境保全活動に積極的に協力します。

代表取締役 湯山 裕之
常務取締役 黒瀬 考史
2003年2月14日 制定

適用範囲

株式会社 湯山製作所 岡山工場における環境マネジメントシステムは、事業活動とサービスに関連する環境保護活動に適用します。

- 組織の名称：株式会社 湯山製作所 岡山工場
- 適用サイトの物理的境界線：岡山県勝田郡奈義町柿502-19の敷地境界内
- 活動範囲：分包紙・葉袋紙の包装材並びに調剤業務支援の記録紙等の製造

ISO14001 : 2015 認証取得

ISO14001は国際標準化機構(International Organization for Standardization)が1996年に制定した、環境マネジメントシステム (EMS)の国際規格です。企業市民として環境に負担をかけない生産活動・体制に対して、その認証が行われます。

株式会社湯山製作所 岡山工場では、業界他社に先駆けて2003年9月にISO14001を取得。廃棄物削減、エネルギー使用の効率化、リサイクル推進などを実施してきた成果が公式に認められ、現在は2015年度版へ移行し運用されています。



ISO9001 認証取得

株式会社 湯山製作所では、国際標準化機構 (International Organization for Standardization) が定めた国際規格である、ISO 9001:2000認証を2003年3月 取得いたしました。

認証の取得により、従来の規格ISO9001 (1994年版)で要求している品質保証のプロセス管理に加えて、顧客満足とその向上のために必要なプロセスを識別、管理し、さらに継続的改善の仕組みが構築されていること、そしてそれが適切に運用されていることが実証されました。



岡山エコ事業所認定

2004年2月に創設された『岡山エコ事業所認定制度』に基づき、循環型社会の形成の為の取り組みが先進的、かつ、優秀であると認められる事業所を県が『岡山エコ事業所』として認定し、その取り組みを広く周知する事により、循環型社会の形成に向けての取り組みの促進を図る制度です。

株式会社湯山製作所 岡山工場では、2007年8月にこれまでの取り組みや活動が認められ、『岡山エコ事業所』の一員として認定され、以後毎年更新しています。



おこやまプラスチック3R宣言事業所認定

近年「海洋プラスチックゴミ」の問題が社会問題となっています。

環境省の推進する「プラスチック・スマート」に合わせ岡山県独自の取り組みとして、プラスチックにおける「3R」の推進により、プラスチックゴミの削減に取組む事業所等を募集／認定／周知する事で広く問題意識の共有をはかる取り組みに湯山製作所岡山工場も参画し登録されました。



SDGs (Sustainable Development Goals)

以前からの取り組みのみならず、
これからも目標達成に向け、新たな活動を続けていきます。

2015年に国連総会で持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)が採択され、環境保護や経済成長に対する考え方が大きく変わり、企業が持続社会の発展・向上に貢献できる取り組みを積極的に進めることが求められています。

SDGsは、当社にとっても大きな目標でもありSDGs達成に向け、持続可能な社会実現を目指し、事業活動を行っております。

今後もSDGsに取り組み、調剤の未来を切り拓く責任あるメーカーとして、取り巻く環境の変化を牽引し、医薬品に関わる全ての医療従事者から頼りにされるパートナーを目指してまいります。



岡山工場のこれまでの取り組み



廃棄物の削減
環境に優しい資材の使用



エネルギー使用の削減



緑化の推進

2019年度までの取り組み

現在まで取り組んできた内容をまとめました。2015年からはそれまでとは少し視点を変えた取り組みを加えてさらに活動の枠を広げていけるよう続けています。

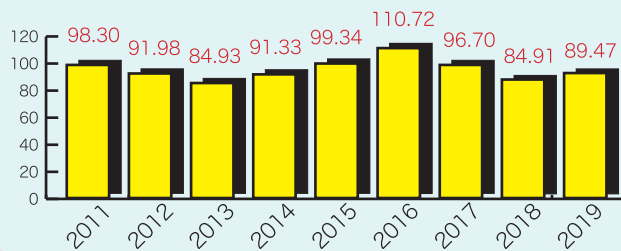
●廃棄物の削減

- 紙管購入量の削減
- リサイクル活動の推進
- 梱包部材の改善
- 樹脂リサイクルの実施
- 予備紙・損紙の削減
- グリーン購入の推進
- データ送稿の推進

等の取り組みにより2008年度には廃棄物の最終処分量0を達成しました。

さらに、2008年度からは工場全体から排出されるトータルでの廃棄物排出量の削減にも取り組んでいます。

廃棄物排出量の削減
(100万円あたりの排出量(kg))



●エネルギー使用の削減

- 節電教育やポスター掲示等の啓蒙活動
 - 節電パトロールの強化
 - デマンドコントローラーの運用
 - 工場内主要箇所の照明を全LED化
 - 生産時間の見直し
 - 機器の設定温度の見直し
 - 遮熱フィルムの導入
 - エコタイプ自動販売機への変更
- 等を継続実施しCO2排出量の削減に取り組んでいます。



室内灯のLED化



エコタイプ自動販売機

●環境に優しい資材の使用

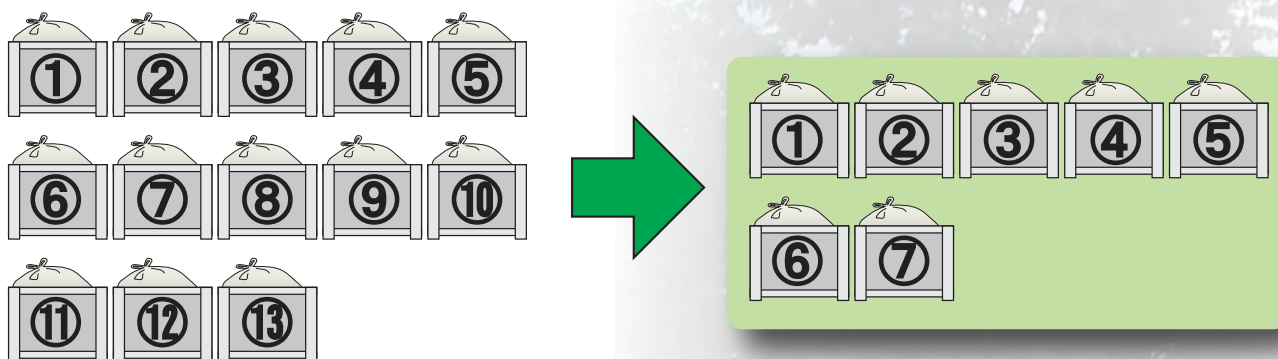
- エコ資材の推進
岡山工場独自のエコ資材基準を設定し、調査・検証・導入をしてきました。
- ウエス購入量の削減
保管場所や運用方法の見直しを行い、全従業員への周知を行うことでウエスを無駄無く使う事を心掛け、年々新規購入量を削減しています。

2006年 10件	2007年 17件	2008年 5件	2009年 15件	2010年 8件
2019年 10年	エコ資材導入実績 累計 130件			2011年 8件
2018年 12件				2012年 6件
2017年 9件	2016年 9件	2015年 9件	2014年 6件	2013年 6件

●工場内の残紙置き場の削減

生産時に出る残紙は工場内に設置された専用の廃棄袋へ廃棄されます。

取組み前は工場内のあちこちにこの袋があり、煩雑な印象がありました。関連部署間での残紙処理方法の見直しを行ったことで設置箇所の変更と集約をすることが出来、整理整頓に貢献しています。(13ヶ所 → 7ヶ所)



●社会貢献

- 周辺地域の清掃活動の実施(6回/年)
- 近隣児童への体験学習や従業員家族への工場見学実施
- エコキャップ回収活動
- ハガキの寄付や損紙・紙管等の物品提供
- エコ事業所認定申請・更新
- 環境報告書の作成
- 地域の森林保全活動への参加、及び緑化の推進
- 献血活動の実施

等を実施し地域に根差し貢献出来る取り組みを行なってきました。



周辺地域の清掃活動



エコキャップ回収BOX

●自覚の向上

- 【チームマイナス6%】、【チャレンジ25】、【Fun to Share】への参加
- 環境教育
- 環境ミーティング
- レポートの作成
- 環境に関する理解度アンケート
- 内部監査員資格取得
- 改善活動

等を実施し、一人一人が環境への関心を高めていけるよう取り組んできました。また、「チームマイナス6%」「チャレンジ25」「Fun to Share」への参画をし、各取り組みにも活用してきました。



紙管の提供
近隣の幼稚園で工作等に提供

●設備の予防保全

設備のトラブルを事前に予防する事で生産時のロスが減らし資源の有効活用に繋がると考え、個々の知識と技術の向上を量る活動を実施しました。



2020年度の目的・目標

岡山県では「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき「岡山エコ事業所認定制度」が創設されています。

循環型社会を形成する為の取り組みが先進的かつ優秀であると認められた事業所を、「岡山エコ事業所」として県が認定しています。

私達は「岡山エコ事業所」の認定継続のもと今後も、より一層の環境保全活動を推進していきたいと思います。

目的

工場内のクリーン化

リサイクルの推進

社会貢献

自覚の向上

設備予防保全

2020年度目標

工場美化活動
(4件/年以上実施)

分別廃棄の実施
(3件/年以上の分別教育実施)

一般社会への知名度向上活動
(1件/課/年以上実施)

地域社会への物品提供
(1件/課/年以上実施)

工場周辺の清掃活動
(6件/年実施)

緑化の推進活動
(6件/年以上実施)

規格(7.3)の教育実施
「Fun To Share」の実践
(4件/課/年以上実施)

改善活動
(12件/課/年以上実施)

環境負荷を考慮した設計
(3件/年の新規案件時考慮)

設備トラブルの予防
(自社製設備の保守部品リスト運用化)

設備トラブルの予防
(2件/課/年以上の設備の調査・修理)

2020年度の達成状況

私たちは「環境方針」達成のため、目的・目標を設定し、環境活動に取り組んでいます。

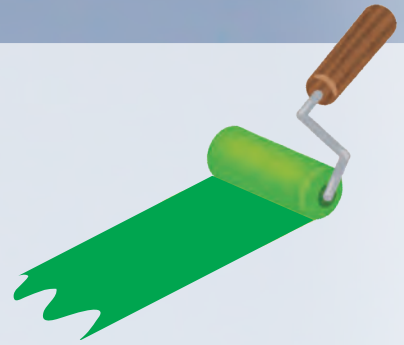
■工場内のクリーン化

●工場内の美化

工場内の見栄えを良くする為、

- 工場内外の修繕 (エアシャワー室の扉や一部天井の補修)
- 工場内外の再塗装 (リフト、リフトポール、床の再塗装)
- 部材棚の整理

などを実施し工場内の美化を推進しました。

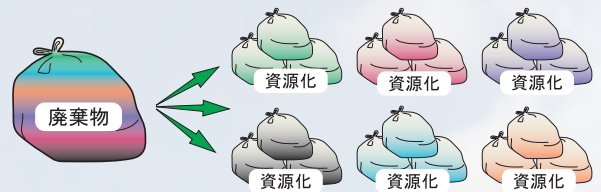


■リサイクルの推進

●分別廃棄の実施

廃棄物毎の決められた廃棄手順を従業員全員に周知徹底させる為、年間3回の教育を実施しました。

細かく分かれた分別により再資源化出来るものが増えるだけでなく個々の環境への意識付けにも寄与します。



■社会貢献

●工場周辺の清掃活動

工場周辺の清掃活動を年6回行いました。また、工業会主催のクリーン計画にも参加し、地域の一員として工業団地内の清掃にも取り組んでいます。



●一般社会への知名度向上活動

日々の環境活動をもっと知ってもらう。その為には湯山製作所という会社をまずは知ってもらう事から始めようと考えました。

地域の方々に社名を認知してもらう為、今年は以下の取り組みを行いました。

- 小学校のあいさつ運動への参加。
- 献血活動の提案・実施。
- 岡山県プラスチック3Rへの参画。
- 環境報告書の作成。

本年はコロナ禍で例年のような活動が行えない中活動をしました。



●地域社会への物品提供

知名度向上とは別に、地域社会への新たな貢献方法として、日々の生産活動の中では本来の役目を終え廃棄されている物でも、別視点から見た場合にまだまだ利用出来る余地があるかもしれない物を探し出し活用してもらう事が出来な
いか考えました。この活動も数年目となり

- 仕様変更等で未使用の上質紙を保育園、幼稚園、小学校へ提供。
- ゴミ袋有料化に伴い、家庭で余った袋を保育園へ提供。



提供品から素晴らしい作品が出来上がりました。

を行いました。

●緑化の推進活動

工場敷地内の桜の樹をより元気に成長させる為に育成の取り組みとして、防虫・除虫・肥料散布・散水整備・草刈り等の活動を年6回実施しました。今後も緑化推進を続けていきたいと思
います。



■自覚の向上

●規格教育の実施 及び【Fun to Share】の実践

環境活動の基本となる規格。その中でも特に重要な項の教育を毎年繰り返し行っています。基本だからこそ一人一人の中に根を張るまで繰り返し確認しています。また、【Fun to Share】の活動も積極的に取り入れ、【環境活動とは何か】という事を言葉だけではなく一人一人が内容を深く理解していけるよう周知活動も行って参りました。



●改善活動

「生産性」「品質向上」「コストダウン」を対象に各課ごとに12件/年の目標を立て、最終的に3課合計 37件/年の改善が提案出来ました。



■設備予防保全

●環境負荷を考慮した設計

新規で自社開発の設備を設計する際に、省エネや高寿命等の環境負荷を低減する部品や機構を採用した設計を行う事とし、本年は3例の導入が出来た。



●設備開発DRの構築・実践

自社開発設備では運用上の問題点等が運用開始後に発見されると大幅な改修が必要になる場合があります。そこでDR(デザインレビュー)を構築・実践する事で開発段階で現場の声を反映させ運用開始後の改修等を未然に排除出来るようになりました。



●設備トラブルの予防

各部署毎に潜在している機械停止要因を明確にし生産を止めない活動を行いました。

環境関連法規制について

■ 環境関連法規制の遵守

- 当工場では大気、水質、悪臭、騒音、振動等の各種法規制や、労働安全衛生法、消防法などの法規制及び、各自治体の条例・協定を遵守しています。
また、実態把握と監視のために定期的に監視・測定を実施しています。

■ 環境に関連する苦情・事故

年度	苦情		事故	処罰事例
2005	水質	に関する苦情	直ちに調査を行い、清掃回数を増やす等の改善を行いました。	/
2006	紙廃棄時の散乱	に関する苦情	直ちに調査を行い、廃棄方法の見直し等の改善を行いました。	/
2007	低周波	に関する苦情	直ちに調査を行いました但当工場からの発生は確認されませんでした。調査結果を役場へ報告致しました。	/
2007	異音	に関する苦情	直ちに調査を行い該当設備の修繕を行いました。その後異音が発生していないことを確認しました。	/
2010	浄化槽の試験結果	に関する苦情	直ちに浄化槽清掃、パッキ槽の活性汚泥化、溶存酸素量の増加を図る等の対応をしました。	/
2015	近隣企業への雑草飛来	に関する苦情	直ちに当該地の草刈りを実施しました。	/
2018	廃棄物への金属片混入	に関する苦情	混入物返却後、直ちに全部署への注意喚起を実施	/
2019	廃棄物への対象外混入	に関する苦情	混入物返却後、直ちに全部署への注意喚起を実施	/
2019	近隣企業への雑草飛来	に関する苦情	直ちに当該地の草刈りを実施しました。	/

■ 緊急時の対応

- 火災発生時の報告手順や廃液が流出した場合の対応マニュアルを作成しています。
また、消防訓練や廃液流出を想定した事故の訓練を定期的実施し、万一の事態に備えています。

教育・訓練

- 環境問題に関する知識、自覚の向上を図ると共に、著しい環境影響の原因となる可能性をもつ作業に従事する従業員に対し、適切な教育・訓練を計画的に行い能力の向上に努めています。

※各資格類

有機溶剤作業主任者	8名
衛生管理者 第一種	2名
第一種 作業環境測定士 (特化物)	1名
危険物取り扱い 丙種	2名
危険物取り扱い 乙第4種	2名
特別管理産業廃棄物管理責任者	2名



教育風景



Your Partner in Medication

yuyama

<http://www.yuyama.co.jp/>